

加東市 就学前児童保護者を対象とした 子育て支援に関するアンケート調査

1 調査の目的

このアンケート調査は「加東市子ども・子育て支援事業計画（仮称）」を策定するにあたり、子育て世帯の現状とニーズを把握するため、現在の教育・保育サービスの利用状況及び今後の利用希望等について、国の基本指針等に基づき、市内の就学前児童をもつ親を対象にアンケートを実施したものです。

2 調査方法及び回収状況

○調査対象：市内の就学前児童をもつ親

○調査期間：平成 25 年 12 月 10 日（火）～平成 26 年 1 月 10 日（金）

○調査方法：郵送配布、郵送回収方式

○調査対象数と回収状況：

調査対象数（A）	1, 200
回収数（B）	655
回収率（B）÷（A）	54. 6

○調査データの表示について

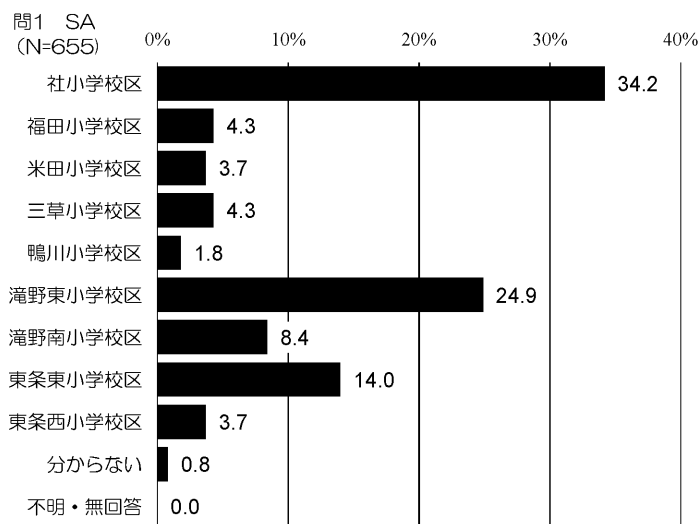
- ・構成比の％は小数点第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計は 100％にならない場合があります。
- ・複数回答の構成比は回答数を回答者数で割っているため、内訳の合計は 100％を超えることになります。
- ・「N」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- ・「SA」は単数回答、「MA」は複数回答を表しています。

3 調査結果

(1) お住まいの地域について

問1 あなたがお住まいの小学校区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

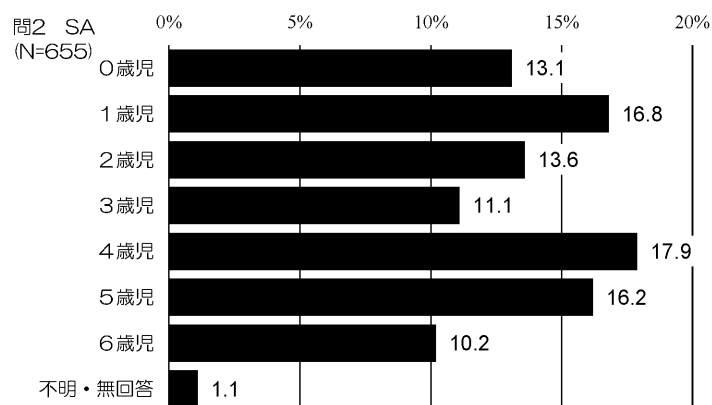
- ・回答者の居住地区について、「社小学校区」が34.2%、「滝野東小学校区」が24.9%、「東条東小学校区」が14.0%となっています。



(2) 子どもとご家族の状況について

問2 お子さまの生年月を口内にご記入ください。

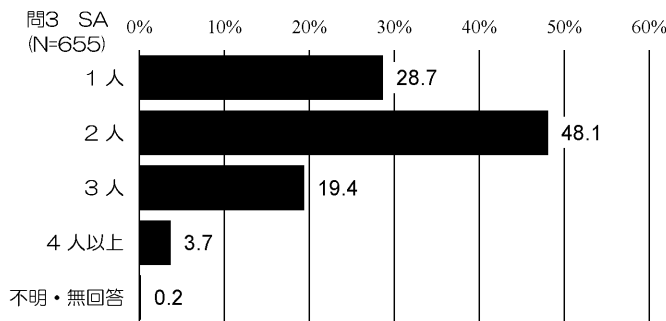
- ・回答者の子どもの年齢について、「4歳児」が17.9%、「1歳児」が16.8%となっています。
- ・また全ての年齢層で回答が1割以上となっています。



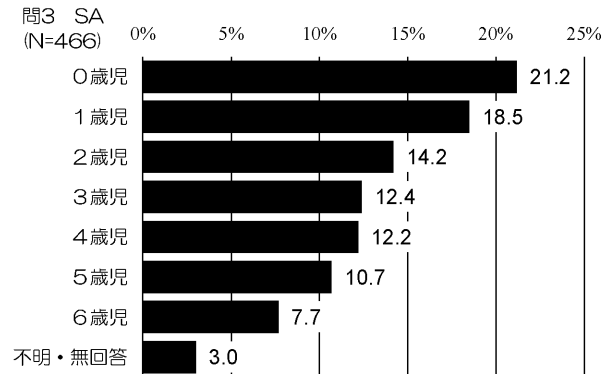
問3 お子さまは何人いますか。2人以上の場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

- ・子どもの人数について、「2人」が48.1%と最も高く、次いで「1人」が28.7%、「3人」が19.4%となっています。
- ・末子の年齢については「0歳児」が21.2%と最も高く、次いで「1歳児」が18.5%、「2歳児」が14.2%となっています。

<子どもの人数>

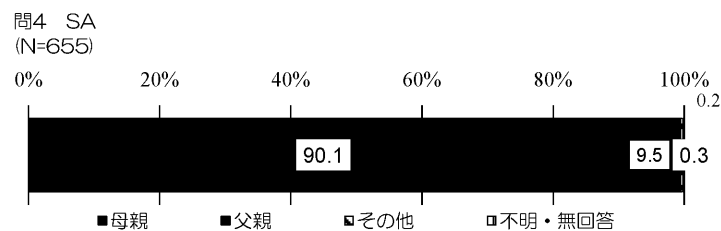


<末子の年齢>



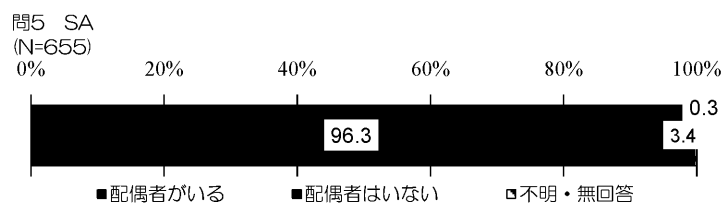
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さまからみて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- ・調査票の回答者は「母親」が9割以上となっています。



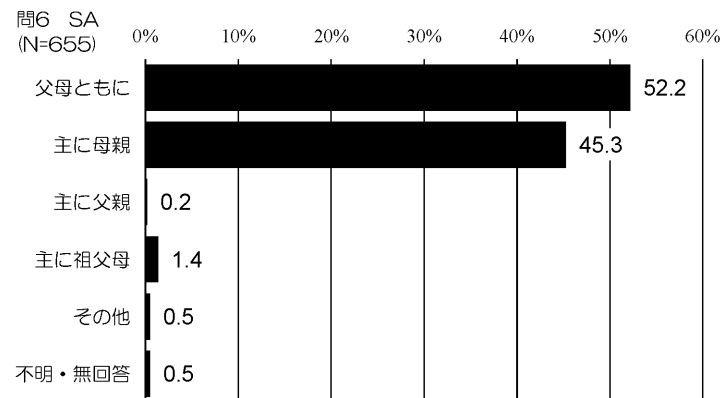
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- ・回答者の9割以上は「配偶者がいる」と回答しています。



問6 お子さまの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さまからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

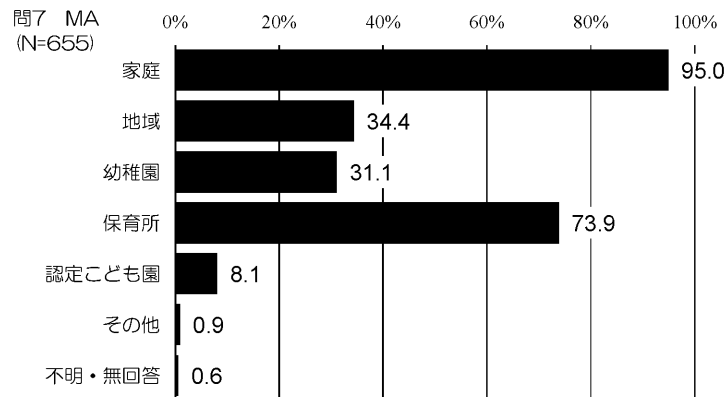
- ・子育てを主に行っている人について、「父母ともに」が52.2%で半数以上を占めており、次いで「主に母親」が45.3%となっています。



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

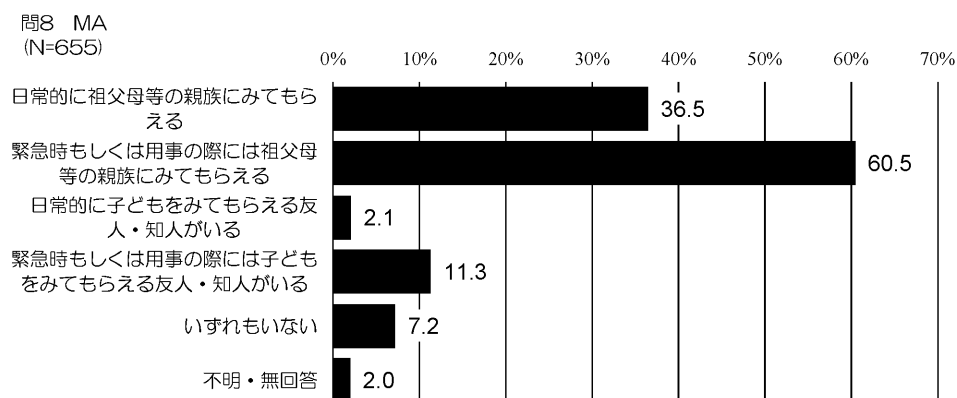
問7 就学前のお子さまの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- ・就学前の子どもの子育てに最も影響する環境について、「家庭」が95.0%と最も高く、次いで「保育所」が73.9%、「地域」が34.4%となっています。



問8 日頃、お子さまをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

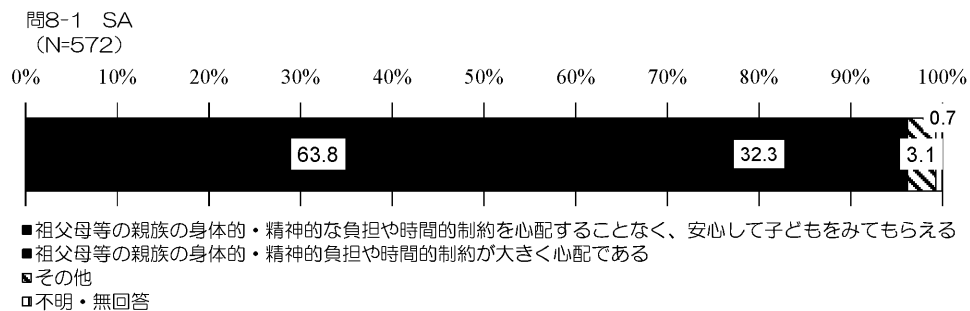
- ・日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が60.5%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が36.5%となっています。
- ・一方、「いずれもない」と回答した割合は7.2%となっています。



問 8-1 問 8 で「1」「2」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さまをみてもらっている状況について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

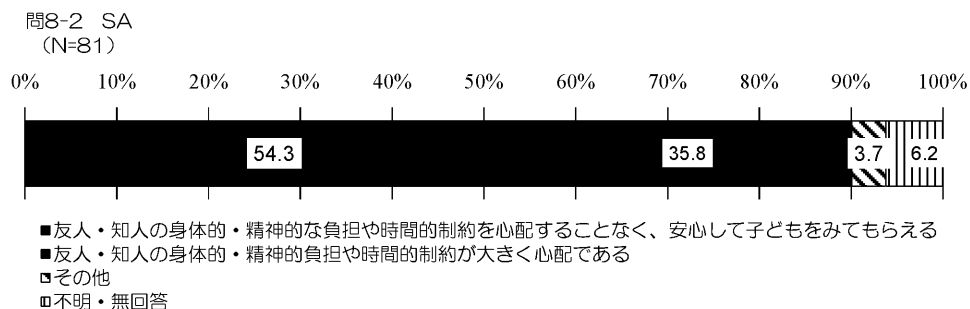
- ・祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 63.8%、「祖父母等の親族の身体的・精神的負担や時間的制約が大きく心配である」が 32.3%となっています。



問 8-2 問 8 で「3」「4」に○をつけた方にうかがいます。

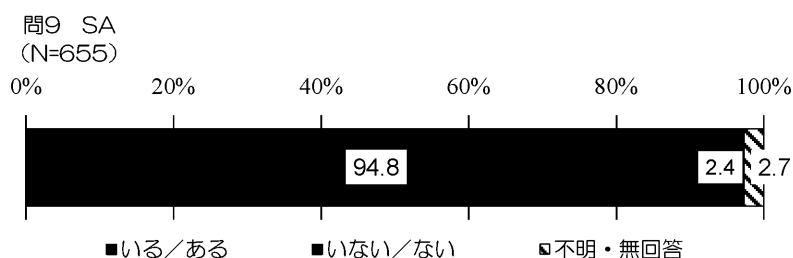
友人・知人にお子さまをみてもらっている状況について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- ・友人・知人に子どもをみてもらっている状況について、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 54.3%、「友人・知人の身体的・精神的負担や時間的制約が大きく心配である」が 35.8%となっています。



問 9 お子さまの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- ・子育てについて気軽に相談できる人の有無について、「いる/ある」が 94.8%、「いない/ない」が 2.4%となっています。

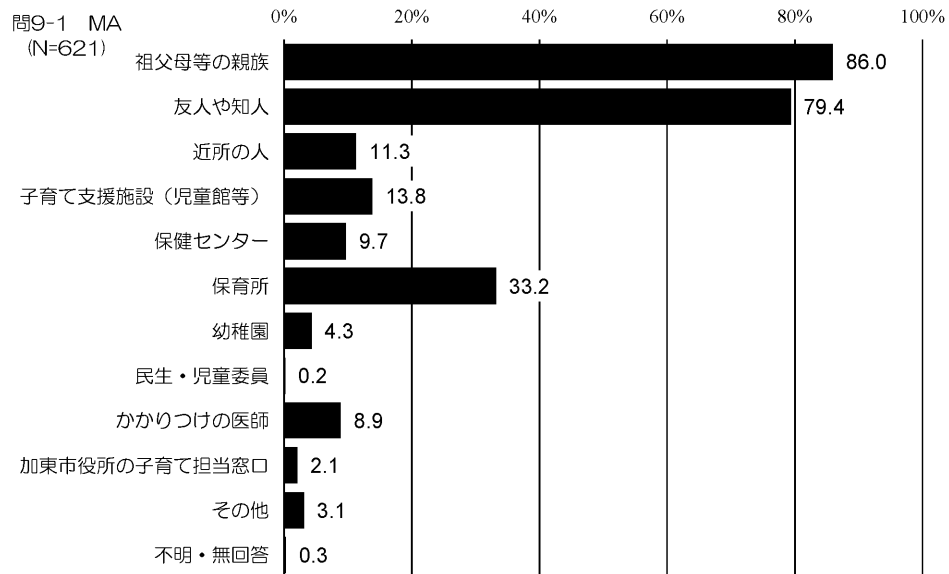


問 9-1 問 9 で「1」に○をつけた方にうかがいます。

お子さまの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

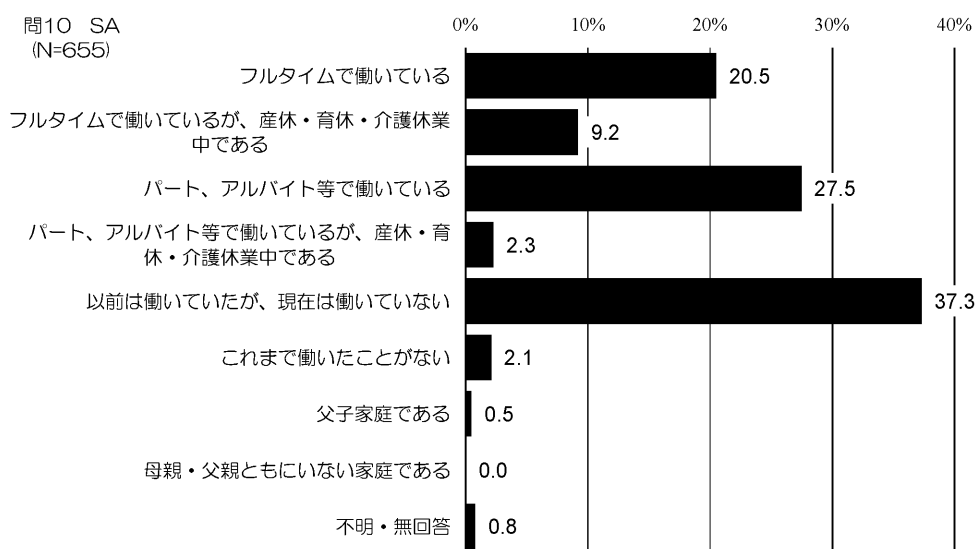
- ・子育てについて気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族」が 86.0%で最も高く、次いで「友人や知人」が 79.4%となっています。



（４）子どもの保護者の働き方について

問 10 お子さまの母親の現在の働き方（自営業や自営業を手伝っている方を含む）について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- ・母親の現在の働き方について、「以前は働いていたが、現在は働いていない」が 37.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で働いている」が 27.5%、「フルタイムで働いている」が 20.5%となっています。

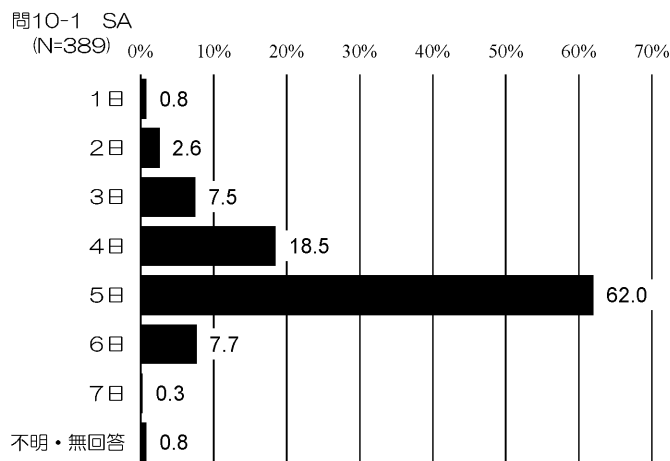


問 10-1 問 10 で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

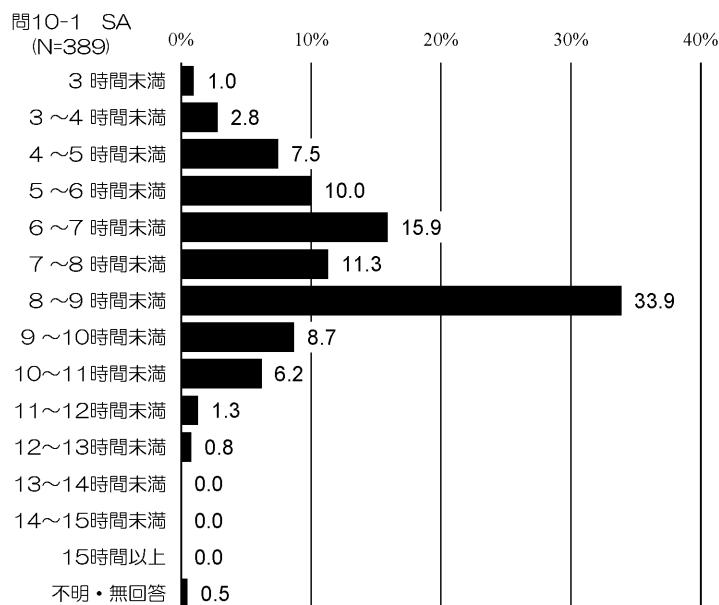
【就労日数】

- ・就労中の母親の就労日数について、「5 日」が 62.0%と最も高く、次いで「4 日」が 18.5%、「6 日」が 7.7%となっています。



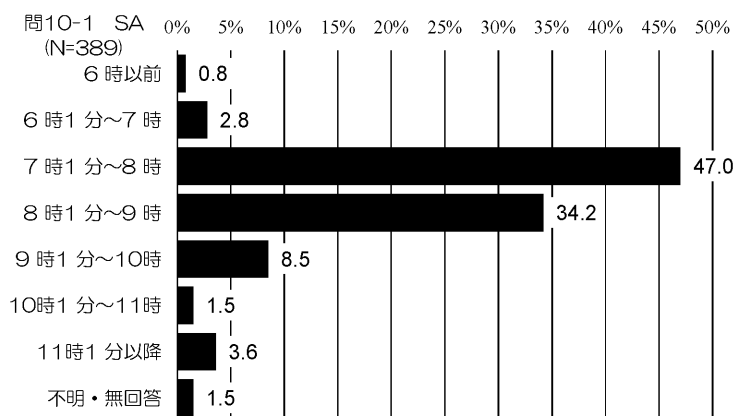
【就労時間】

- 就労中の母親の1日当たりの就労時間について、「8～9 時間未満」が 33.9%と最も高く、次いで「6～7 時間未満」が 15.9%、「7～8 時間未満」が 11.3%となっています。



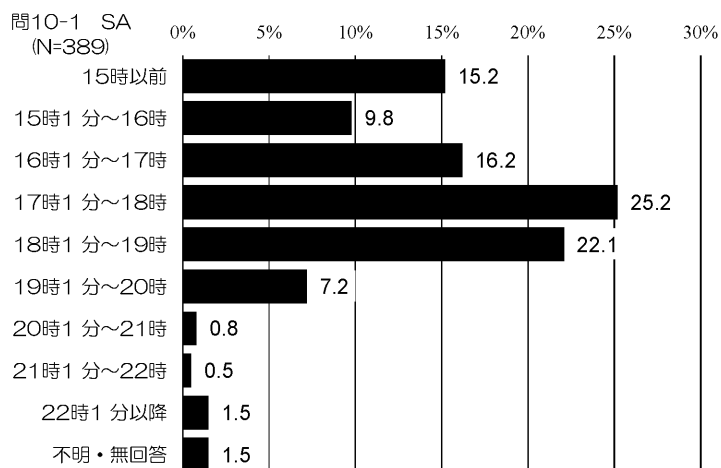
【出勤時刻】

- 就労中の母親の出勤時刻について、「7 時台(7 時 1 分～8 時)」が 47.0%と最も高く、次いで「8 時台(8 時 1 分～9 時)」が 34.2%となっています。



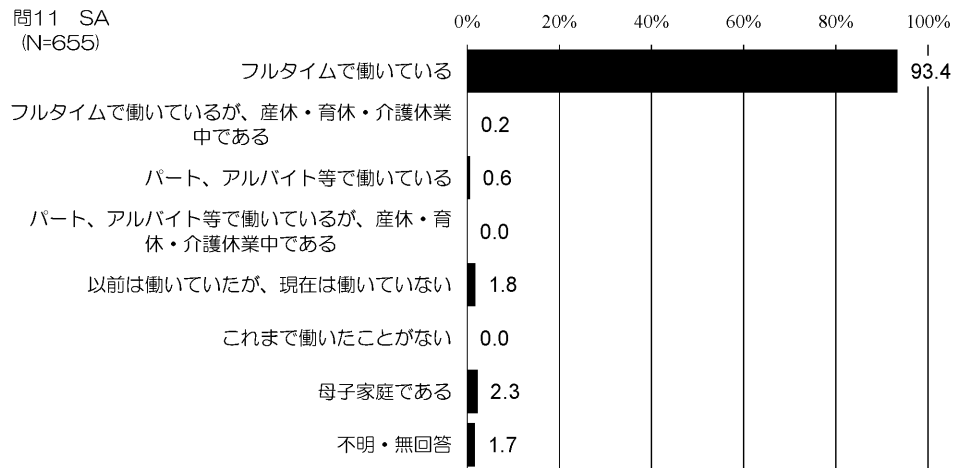
【帰宅時刻】

- 就労中の母親の帰宅時刻について、「17 時台(17 時 1 分～18 時)」が 25.2%と最も高く、次いで「18 時台(18 時 1 分～19 時)」が 22.1%となっています。



問 11 お子さまの父親の現在の働き方（自営業や自営業を手伝っている方を含む）について、
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

・父親の現在の働き方について、「フルタイムで働いている」が 93.4%と大半を占めています。

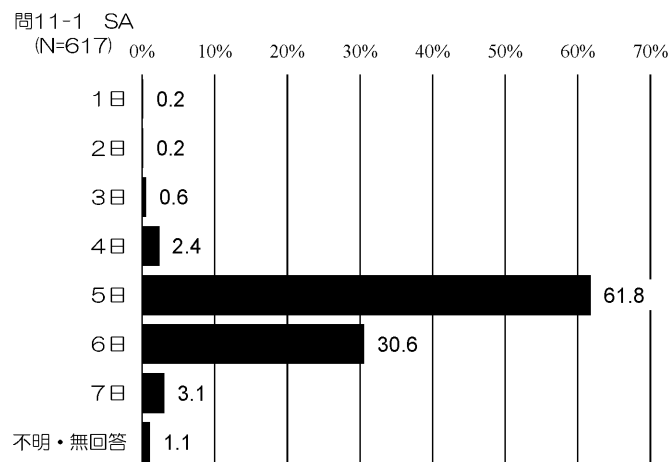


問 11-1 問 11 で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と
帰宅時刻をお答えください。

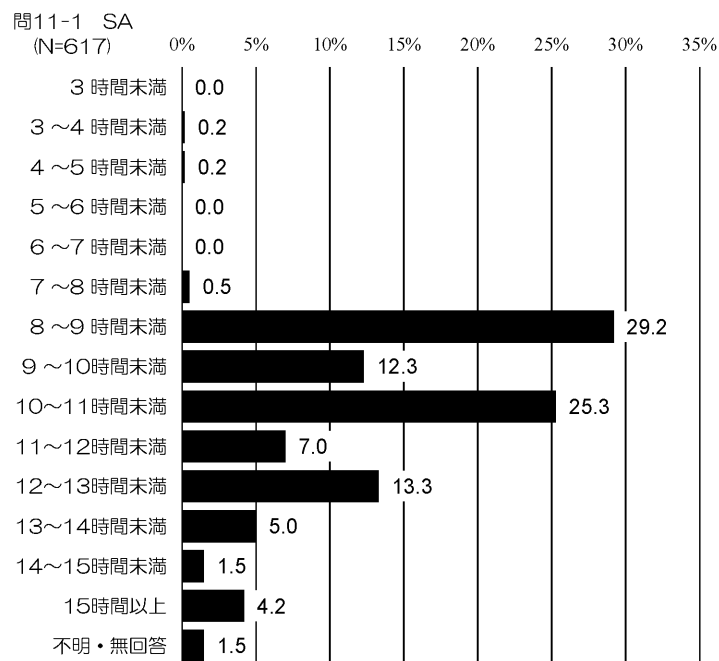
【就労日数】

・就労中の父親の就労日数について、「5 日」が 61.8%と最も高く、次いで「6 日」が 30.6%となっています。



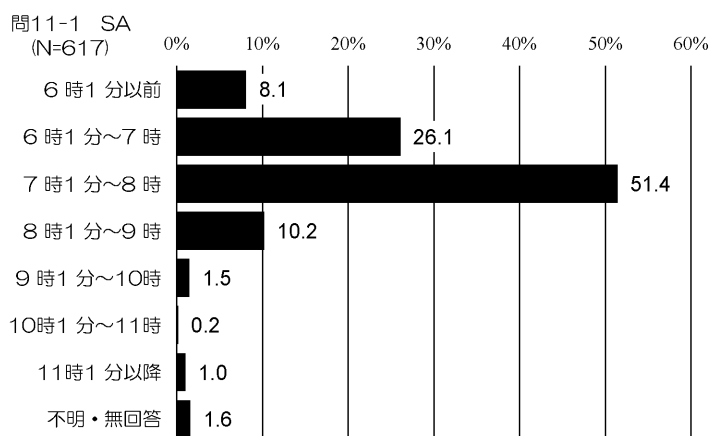
【就労時間】

- 就労中の父親の1日当たりの就労時間について、「8～9 時間未満」が 29.2%と最も高く、次いで「10～11 時間未満」が 25.3%、「12～13 時間未満」が 13.3%となっています。



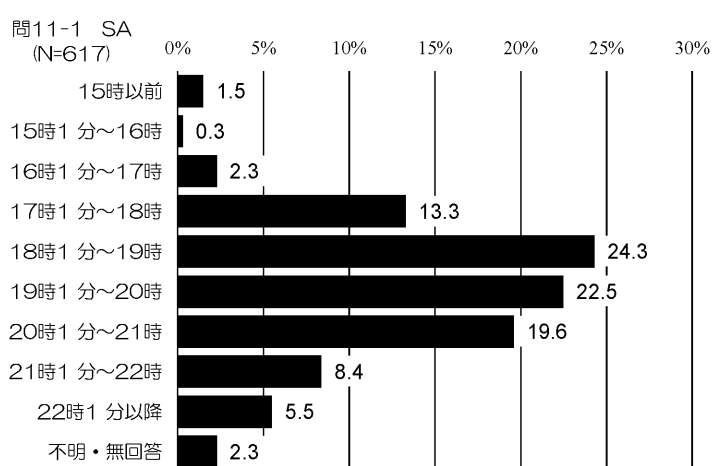
【出勤時刻】

- 就労中の父親の出勤時刻について、「7 時台(7 時 1 分～8 時)」が 51.4%と最も高く、次いで「6 時台(6 時 1 分～7 時)」が 26.1%となっています。



【帰宅時刻】

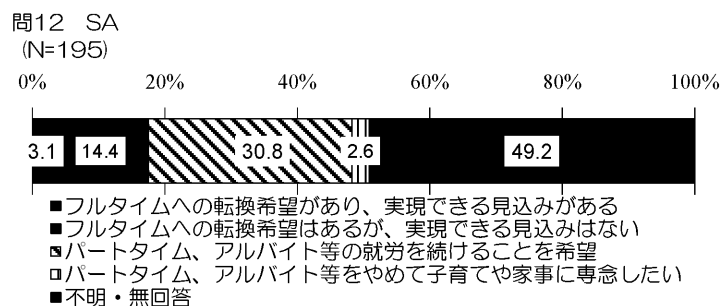
- 就労中の父親の帰宅時刻について、「18 時台(18 時 1 分～19 時)」が 24.3%と最も高く、次いで「19 時台(19 時 1 分～20 時)」が 22.5%となっています。



問12 問10または問11で、「3」「4」に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- ・「パート・アルバイト」の母親に、フルタイムへの転換希望を伺ったところ、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が3.1%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が14.4%となっており、あわせて2割弱がフルタイムへの転換を希望しています。



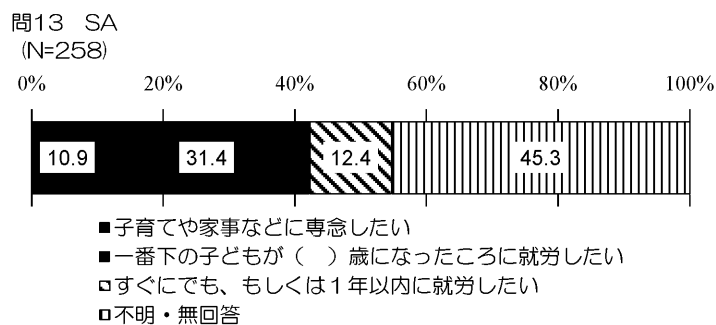
※「パート・アルバイト」の父親の回答数が4件であったため、父親の回答は省略している

問13 問10または問11で「5」「6」に○をつけた方にうかがいます。

働きたいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

【現在就労していない母親の就労意向】

- ・現在就労していない母親に就労意向を伺ったところ、「一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」が31.4%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が12.4%となっています。

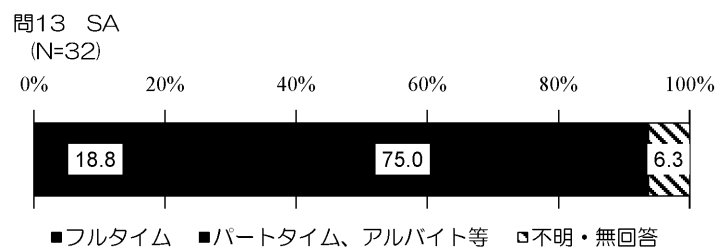


- ・一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについて、「3歳」が37.0%と最も高く、次いで「6歳以上」が30.9%となっています。



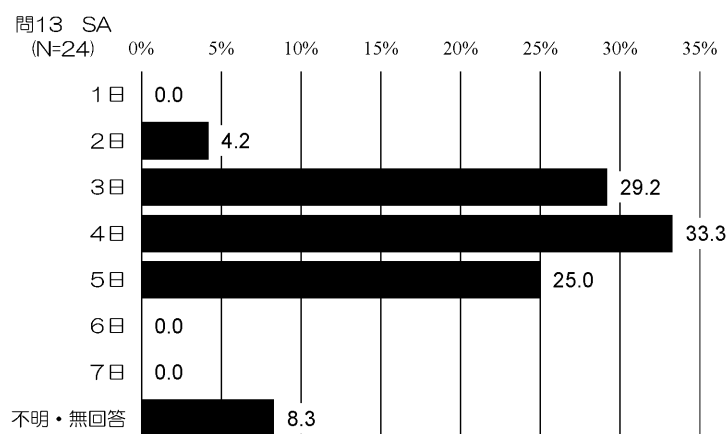
【就労形態】

- ・就労意向のある母親に就労形態の希望を伺ったところ、「パートタイム、アルバイト等」が75.0%、「フルタイム」が18.8%となっています。



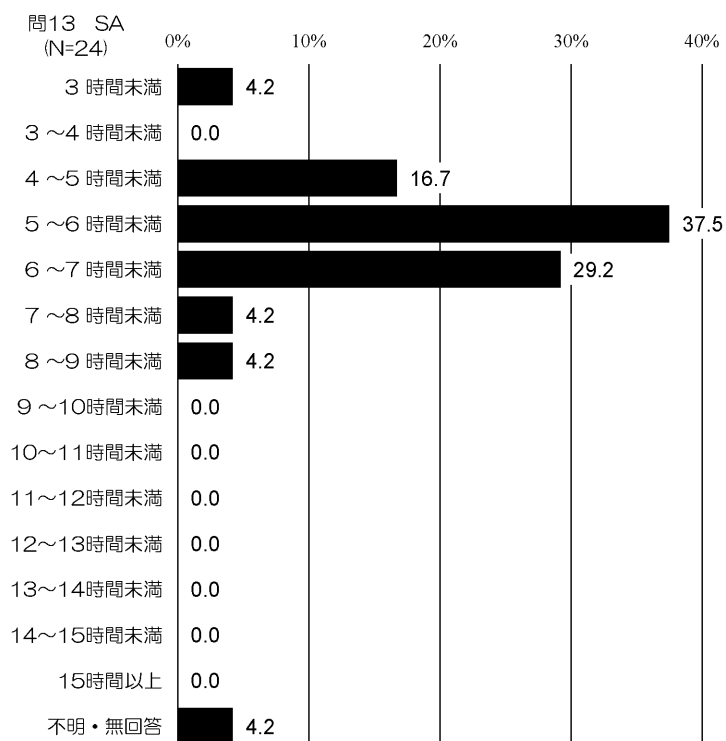
【就労日数】

- ・就労日数については「4日」が33.3%と最も高く、次いで「3日」が29.2%、「5日」が25.0%となっています。



【就労時間】

- ・就労時間については「5～6 時間未満」が37.5%と最も高く、次いで「6～7 時間未満」が29.2%となっています。



【現在就労していない父親の就労意向】

- ・現在就労していない父親に就労意向を伺ったところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が7件となっています。

問13 働きたいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。（父親）				
回答者総数	子育てや家事などに専念したい	一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	不明・無回答
12 100.0	0 0.0	0 0.0	7 58.3	5 41.7

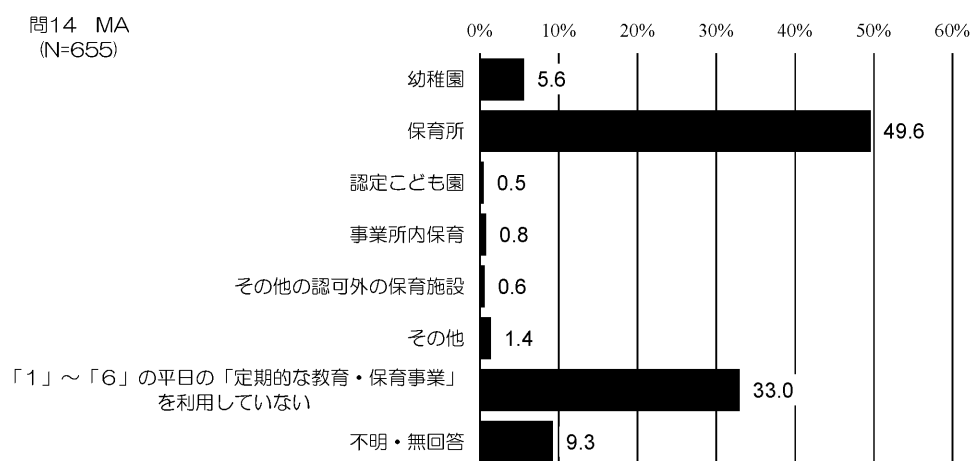
- ・就労意向のある父親に就労形態の希望を伺ったところ、「フルタイム」が5件となっています。

問13 希望する就労形態（父親）			
回答者総数	フルタイム	パートタイム、アルバイト等	不明・無回答
7 100.0	5 71.4	0 0.0	2 28.6

（５）子どもの平日の定期的な教育・保育事業(幼稚園や保育所など)の利用状況

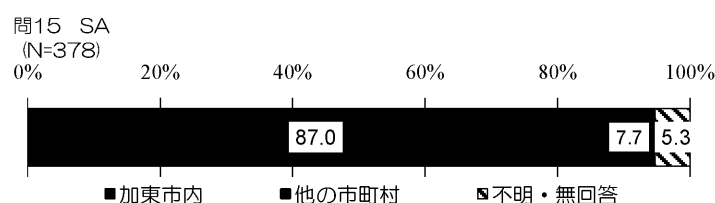
問 14 お子さまは現在、平日の「定期的な教育・保育事業」として、次の「1」～「6」を利用していますか。当てはまる番号すべてに○（そのうち最も利用しているものに◎）をつけてください。

- ・子どもの平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況を伺ったところ、「保育所」が49.6%と最も高く、次いで「利用していない」が33.0%となっています。



問 15 上記の「定期的な教育・保育事業」を利用している場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

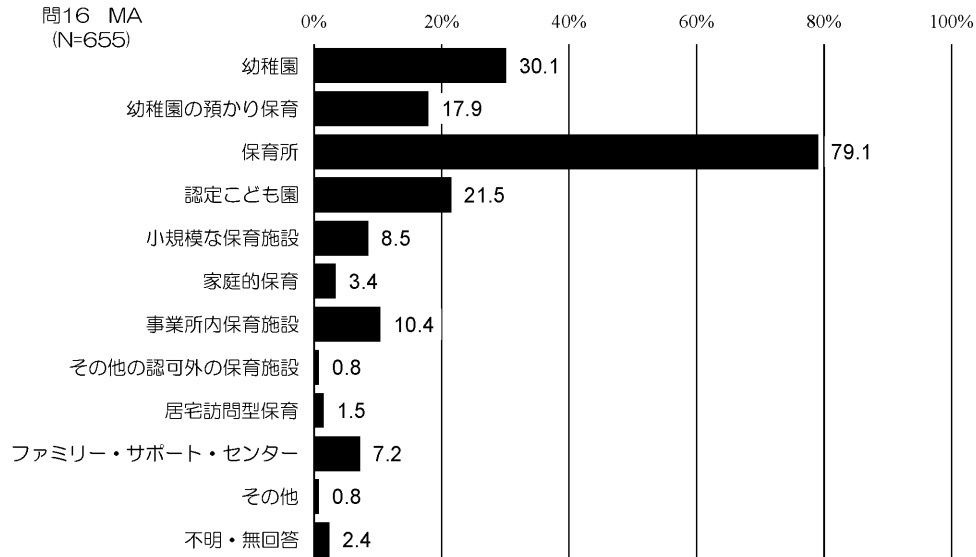
- ・「定期的な教育・保育事業」を利用している場所について、「加東市内」が87.0%と大半を占めており、次いで「他の市町村」が7.7%となっています。



問 16 すべての方にうかがいます。

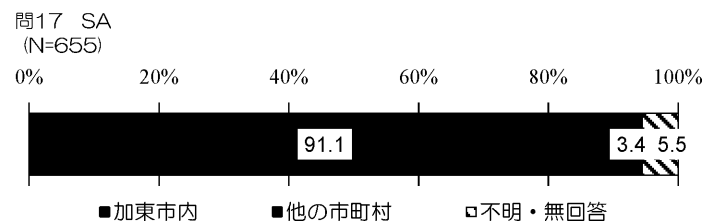
お子さまの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- ・平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業について、「保育所」が 79.1%と最も高く、次いで「幼稚園」が 30.1%、「認定こども園」が 21.5%となっています。



問 17 上記の「定期的な教育・保育事業」の利用を希望する場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

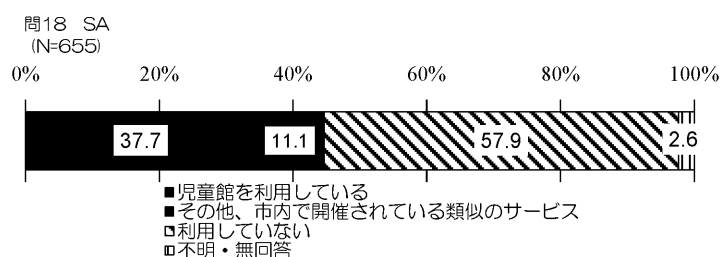
- ・「定期的な教育・保育事業」の利用を希望する場所について、「加東市内」が 91.1%と 9 割を越えています。



（６）子どもの地域の子育て支援事業の利用状況

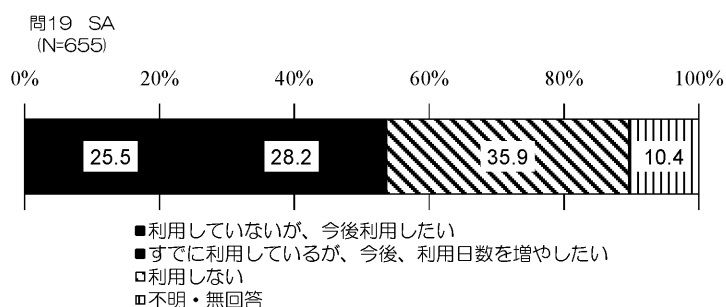
問 18 お子さまは、現在、児童館（やしこどものいえ、きらら、東条鯉こいランド）や、保育所・幼稚園等で実施されている子育てひろば等を利用していますか。利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用頻度もご記入ください。

- ・児童館や子育てひろば等の利用状況について、「利用していない」が 57.9%と半数を占めており、次いで「児童館を利用している」が 37.7%となっています。



問 19 問 18 のような施設・サービスについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、おおよその利用頻度もご記入ください。

- ・児童館や子育てひろば等の施設・サービスに対する今後の利用希望について伺ったところ、「利用しない」が 35.9%と最も高く、次いで「すでに利用しているが、今後、利用日数を増やしたい」が 28.2%、「利用していないが、今後利用したい」が 25.5%となっています。

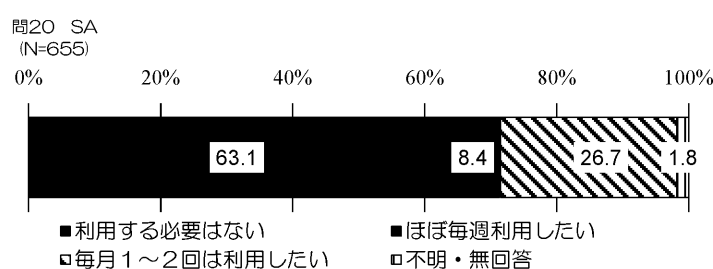


(7) 子どもの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

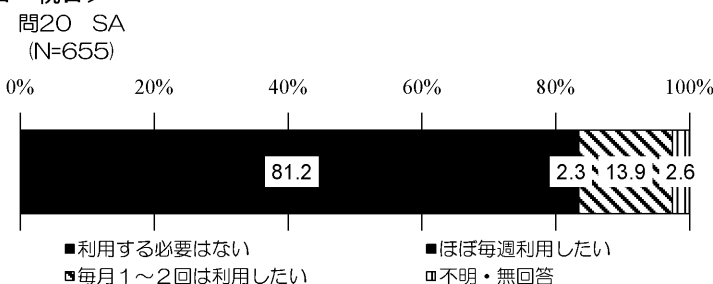
問 20 お子さまについて、平日の定期的な利用に加えて、土曜日、日曜日、祝日に、教育・保育事業（保育所や幼稚園など。親戚・知人による預かりは含みません）を、定期的にご利用したいと思いますか。それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯も記入してください。（既に利用している方もお答えください）

- ・土曜日・日曜日・祝日における教育・保育事業の利用意向について、土曜日については「ほぼ毎週利用したい」が 8.4%、「毎月 1～2 回利用したい」が 26.7%となっています。
- ・また、日曜日・祝日については「ほぼ毎週利用したい」が 2.3%、「毎月 1～2 回利用したい」が 13.9%となっています。

<土曜日>



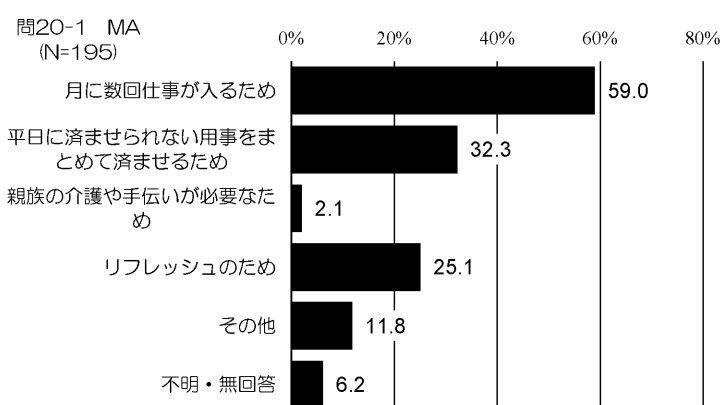
<日曜日・祝日>



問 20-1 問 20 で「3」に○をつけた方にうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

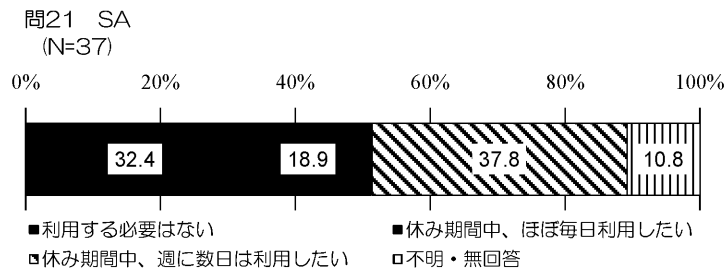
- ・「毎月 1～2 回利用したい」回答者に対してたまに利用したい理由を伺ったところ、「月に数回仕事が入るため」が 59.0%と最も高く、次いで「平日済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 32.3%となっています。



問 21 幼稚園を利用している方にうかがいます。

お子さまについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯も記入してください。

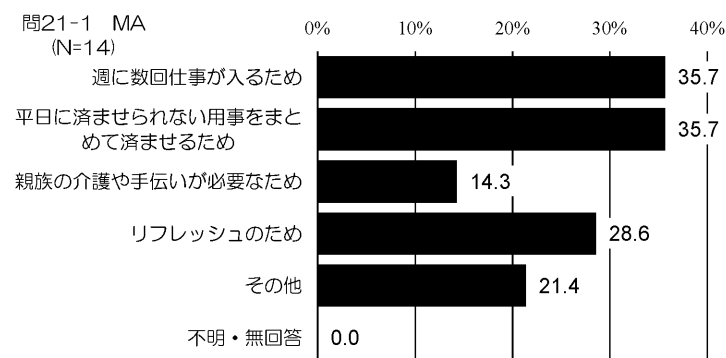
- ・幼稚園を利用している回答者に対して長期休暇中の教育・保育事業の利用希望を伺ったところ、「休み期間中、週に数日は利用したい」が 37.8%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が 32.4%、「休み期間中、ほぼ毎日利用したい」が 18.9%となっています。



問 21-1 問 21 で「3」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

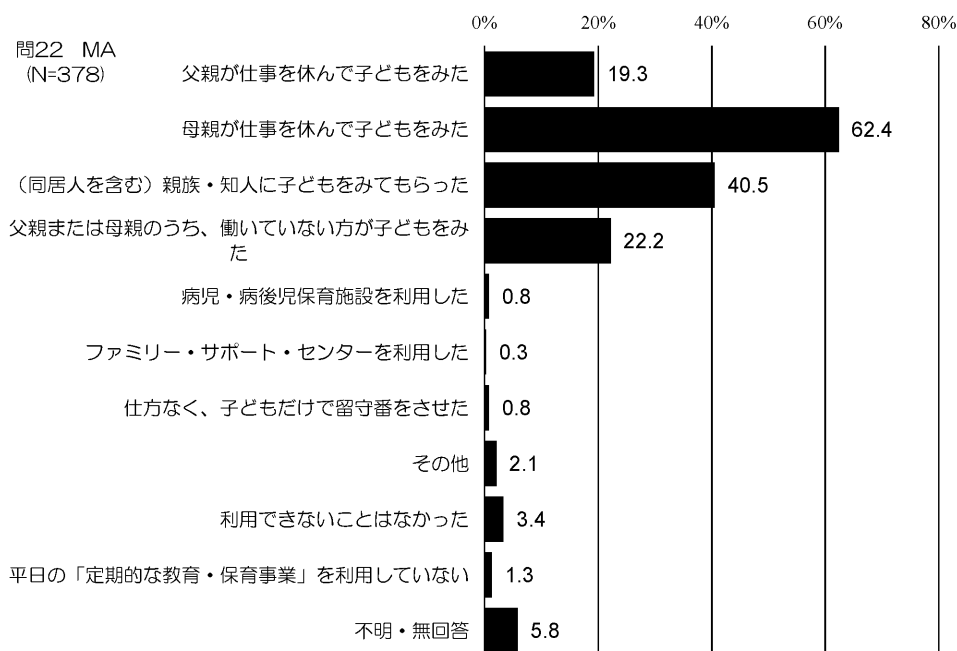
- ・「休み期間中、週に数日は利用したい」回答者に対して、週に数日利用したい理由を伺ったところ、「月に数回仕事が入るため」と「平日済ませられない用事をまとめて済ませるため」がともに 35.7%となっており、次いで「リフレッシュのため」が 28.6%となっています。



(8) 子どもの病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ回答）

問 22 この１年間に、お子さまのケガや病気により、保育所や幼稚園などの平日の「定期的な教育・保育事業」が利用できなかったことはありますか。ある場合は、その際の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- ・子どもがケガや病気により定期的な教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法について、「母親が仕事を休んで子どもをみた」が62.4%と最も高く、次いで「（同居人を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が40.5%となっています。

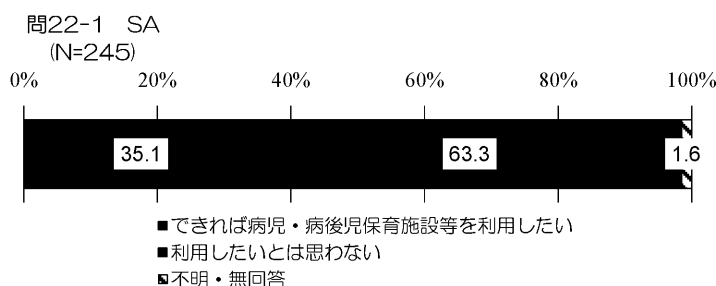


問 22-1 問 22 で「1」「2」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、日数についても記入してください。

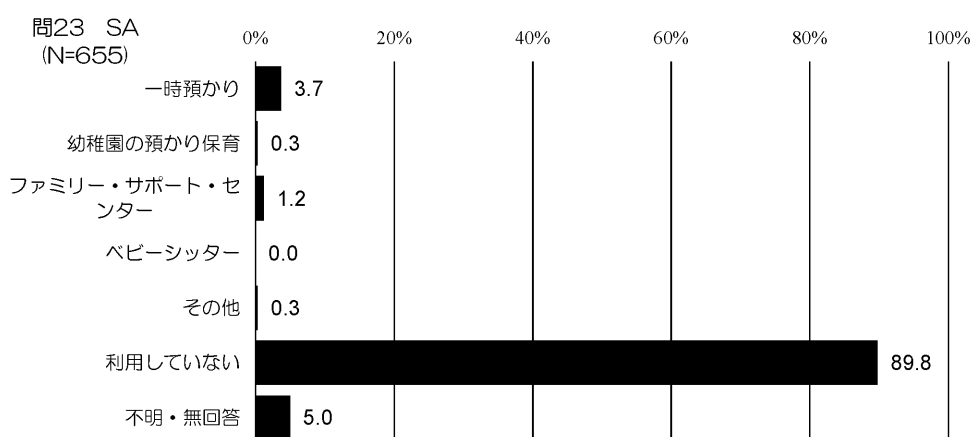
- ・母親または父親が仕事を休んで子どもをみた回答者に対して、病児・病後児のための保育施設等の利用希望を伺ったところ、「利用したいとは思わない」が63.3%と最も高く、次いで「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が35.1%となっています。



(9) 子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

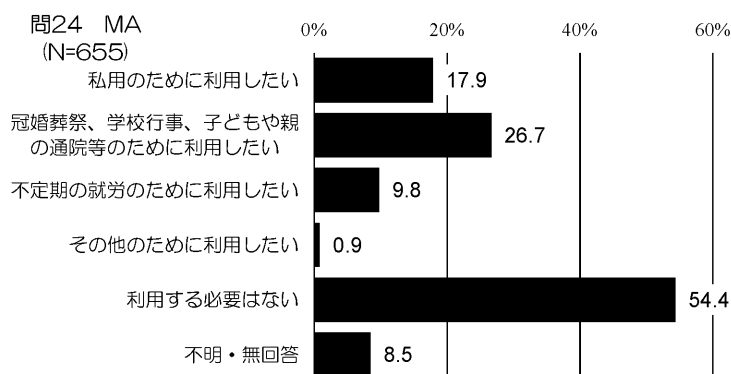
問 23 保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気、仕事など）のために、不定期で利用している事業はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、1年間のおおよその利用日数もご記入ください。

- ・保護者の用事のため不定期で利用している事業について、「利用していない」が89.8%と9割弱に達しています。
- ・利用している事業としては「一時預かり」が3.7%、「ファミリー・サポート・センター」が1.2%、「幼稚園の預かり保育」が0.3%で、全て5%以下の低い値となっています。



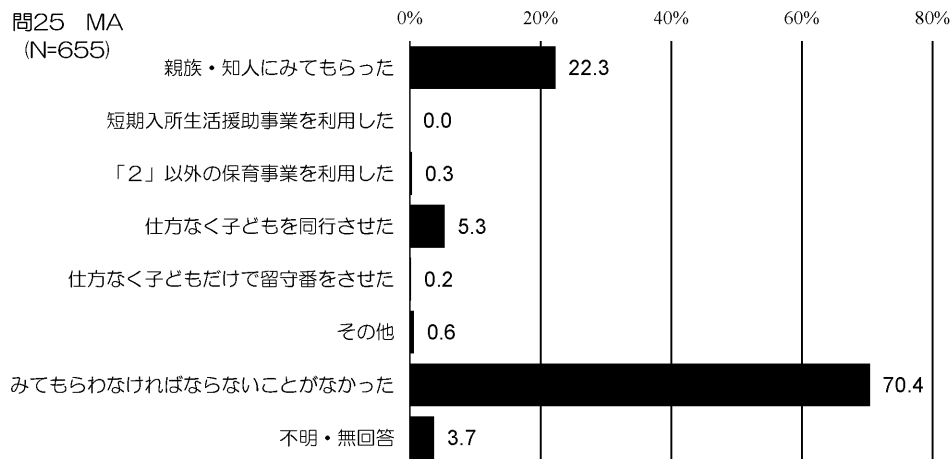
問 24 保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気、仕事など）のために、お子さまは年間何日くらい一時預かり等のサービスを利用する必要があると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、1年間のおおよその必要日数もご記入ください。

- ・保護者の用事のための一時預かり等のサービス利用について、「利用する必要はない」が54.4%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等のために利用したい」が26.7%となっています。



問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気、仕事など）により、お子さまを泊りがけでみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）当てはまる番号すべてに○をつけてください。またそれぞれの日数も記入してください。

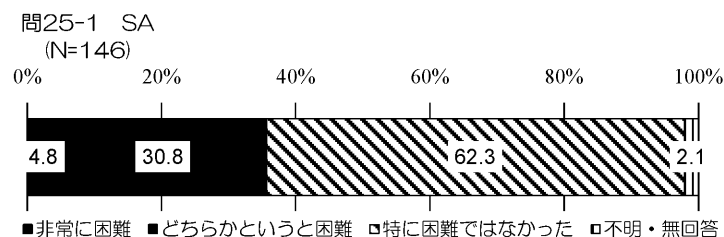
- ・この1年間における保護者の用事により子どもを泊りがけでみてもらわなければならない状況の発生について、「みてもらわなければならないことがなかった」が70.4%と最も高く、次いで「親族・知人にみてもらった」が22.3%、「仕方なく子どもを同行させた」が5.3%となっています。



問 25-1 問 25 で「1」に○をつけた方にうかがいます。

お子さまを親族・知人にみてもらうことは、難しかったですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

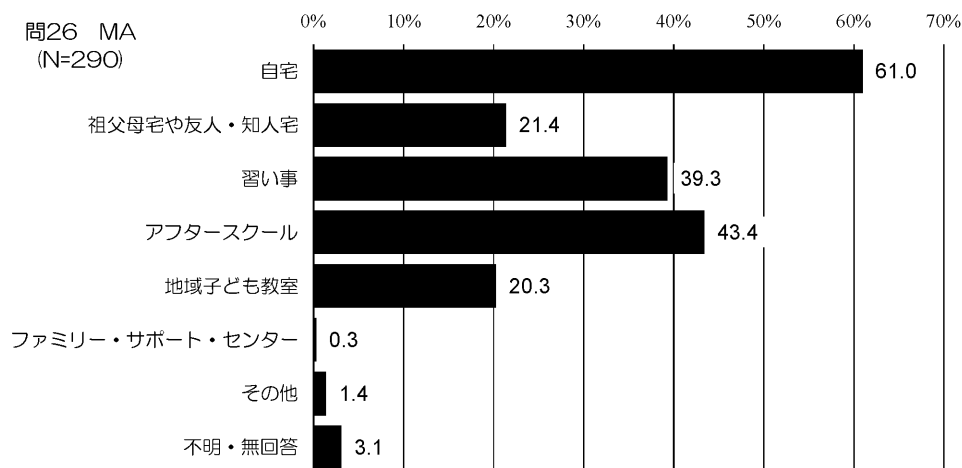
- ・子どもを泊りがけで親族・知人にみてもらった際の困難度について、「特に困難ではなかった」が62.3%と最も高く、次いで「どちらかというと困難」が30.8%、「非常に困難」が4.8%となっています。



(10) 4歳以上の子どもがいる家庭における小学校就学後の放課後の過ごし方

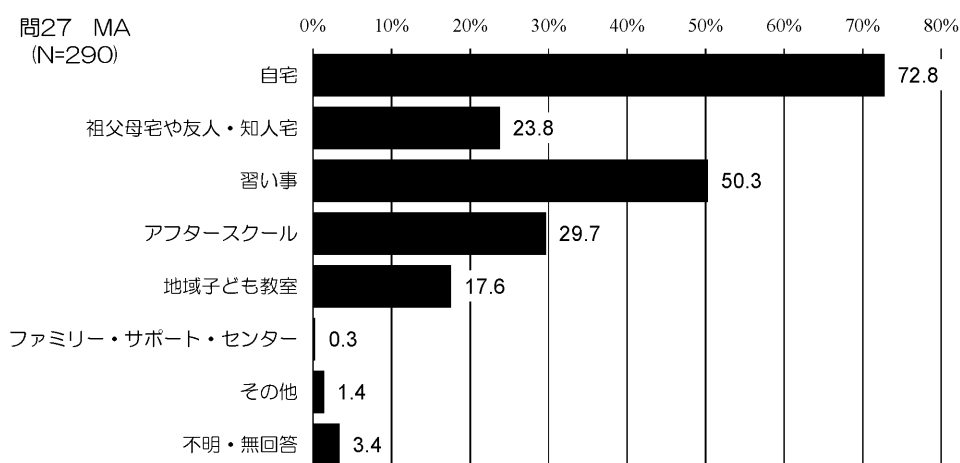
問 26 お子さまが小学校低学年（1～3 年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、希望する日数も数字でご記入ください。

- ・子どもが小学校低学年時に希望する放課後の時間を過ごす場所について、「自宅」が 61.0%と最も高く、次いで「アフタースクール」が 43.4%、「習い事」が 39.3%となっています。



問 27 お子さまが小学校高学年（4～6 年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、希望する日数も数字でご記入ください。

- ・子どもが小学校高学年時に希望する放課後の時間を過ごす場所について、「自宅」が 72.8%と最も高く、次いで「習い事」が 50.3%、「アフタースクール」29.7%となっています。

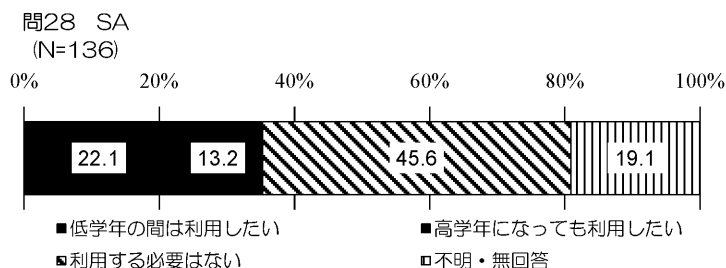


問 28 問 26 または問 27 で「4」に○をつけた方にうかがいます。

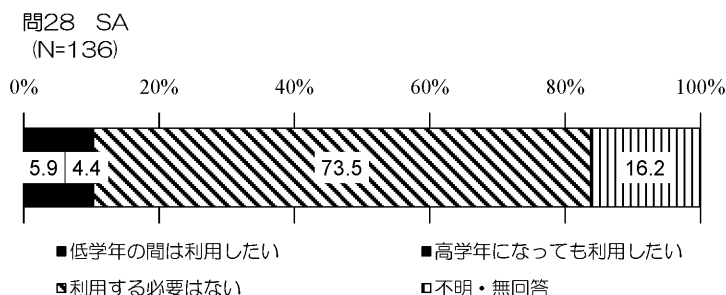
土曜日と日曜日・祝日に、お子さまのアフタースクールの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また。利用を希望する時間帯もご記入ください。

- ・土曜日・日曜日・祝日におけるアフタースクールの利用希望について、土曜日については「低学年の間は利用したい」が 22.1%、「高学年になっても利用したい」が 13.2%となっています。
- ・また、日曜日・祝日については「低学年の間は利用したい」が 5.9%、「高学年になっても利用したい」が 4.4%となっています。

<土曜日>

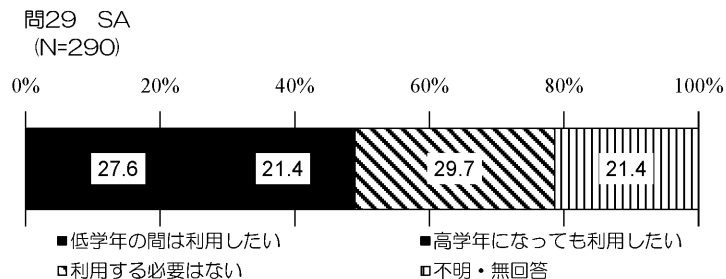


<日曜日・祝日>



問 29 夏休み、冬休みなどの長期の休暇期間中に、お子さまのアフタースクールの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また。利用を希望する時間帯もご記入ください。

- ・長期休暇期間中におけるアフタースクールの利用希望について、「低学年の間は利用したい」が 27.6%、「高学年になっても利用したい」が 21.4%、「利用する必要はない」が 29.7%となっています。

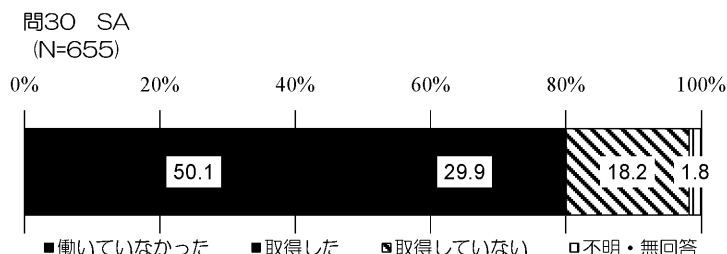


（１１）職場の両立支援制度について

問 30 お子さまが生まれたとき、母親・父親のどちらか、または両方が、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を下から選んで番号をご記入ください。

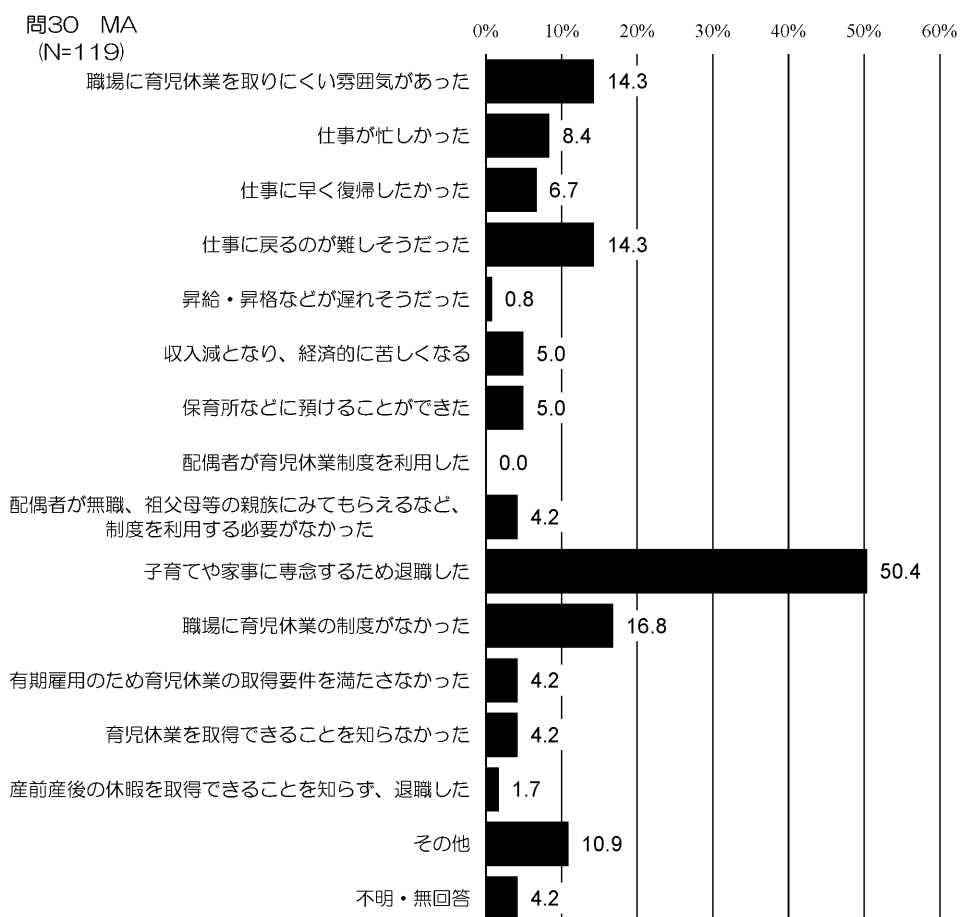
【母親の育児休業の取得状況】

- ・母親の育児休業の取得について、「取得した」が 29.9%、「取得していない」が 18.2%、「働いていなかった」が 50.1%となっています。



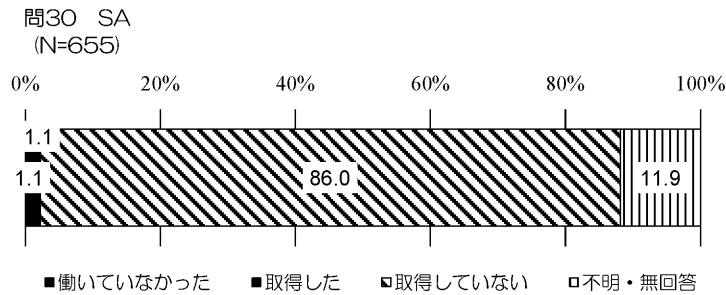
【育児休業を取得しなかった母親の理由】

- ・育児休業を取得しなかった母親の理由としては、「子育てや家事に専念するため退職した」が 50.4%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と「仕事に戻るのが難しそうだった」が 14.3%となっています。



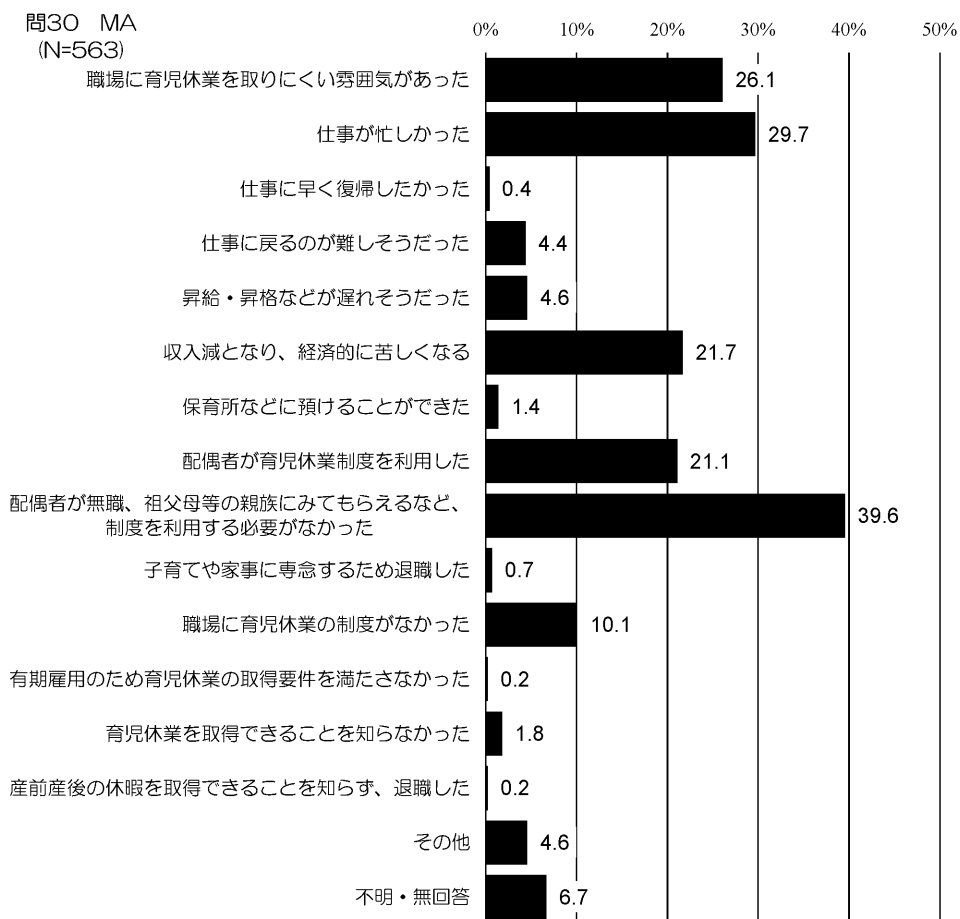
【父親の育児休業の取得状況】

・父親の育児休業の取得について、「取得した」が1.1%、「取得していない」が86.0%、「働いていなかった」が1.1%となっています。



【育児休業を取得しなかった父親の理由】

・育児休業を取得しなかった父親の理由としては、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が39.6%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が29.7%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が26.1%となっています。

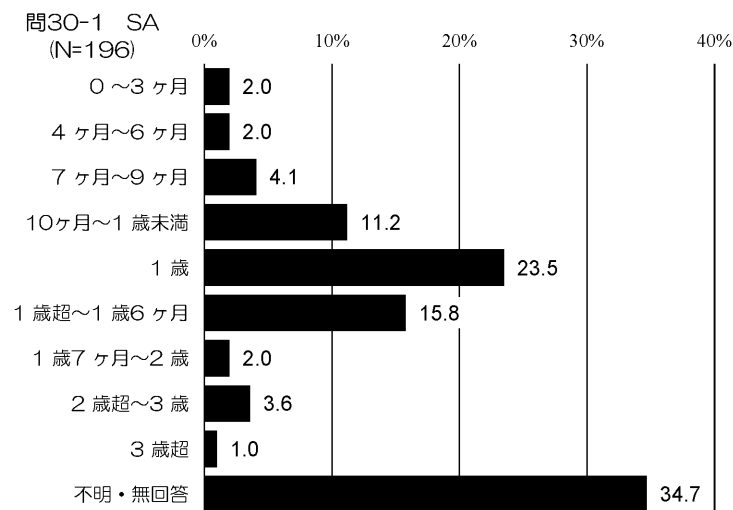


問 30-1 問 30 で「2. 取得した」に○をつけた方で、すでに職場復帰をされている方にうかがいます。

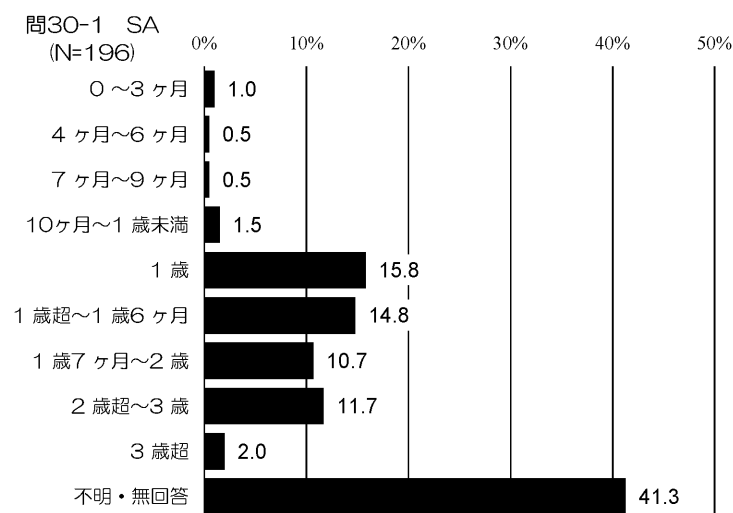
育児休業からは、「実際」にお子さまが何歳の時に職場復帰されましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

- ・職場復帰した際の子どもの年齢について、「1歳」が23.5%と最も高く、次いで「1歳超～1歳6ヶ月」が15.8%、「10ヶ月～1歳未満」が11.2%となっています。
- ・また、子どもが何歳になるまで育児休業を取得したかったかについては、「1歳」が15.8%と最も高く、次いで「1歳超～1歳6ヶ月」が14.8%、「2歳超～3歳」が11.7%となっています。

<職場復帰した際の子どもの年齢>



<職場復帰する際に希望する子どもの年齢>



問 30-2 問 30-1 で実際の職場復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- ・希望の時期に職場復帰しなかった理由について、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 39.5%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 29.1%となっています。

